

授業改善等に関する報告書（2021年後期）短期大学部

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2021（後期）短大共通] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
フランス語 b	岡本 尚子	フランス語bでは、フランス語aに続いて基礎的な語彙と文法事項を学習しながら、動画や映画の鑑賞などを通じて実際にフランス語がどのように使われているかも見ていきました。いろいろと規則があつて難しいと感じた人も多かったようですが、皆さん積極的に参加してその成果も出ていたと思います。語学は短期間ですぐできるようになるというわけにはいかないのですが、基礎的なことを理解しておく、レベルが上がっても勉強しやすくなります。今回学習したことをもとにして、今後も是非フランス語の勉強を続けてみてください。
オープン講座⑤	板倉 文彦	この科目は専門家によるオムニバス形式で授業が進められました。アンケート結果は、ほとんどの項目で平均値を上回る良い結果となりました。また、フリーコメントでも社会出るにあたりその知識やスキルを身に付けられたとの意見が書かれていました。この結果は、講師陣の授業内容のみならず、5限時の開講にも関わらず学生の皆さんが意欲的に参加して頂いた結果と思います。今後も学生の皆さんの期待に応えるべく、さらなるグレードアップを目指したいと思います。
日本語表現法 b	佐藤 辰雄	①大半を対面授業で実施した。小テストも紙印刷で行ったので各人の国語力が測れた。日本語表現について見識を高める授業の性質上、対面の方が質問も出しやすいとの意見が寄せられるのも道理と言えよう。 ②実技実習的な授業を心がけたが、学生の評価は全体的に平均を少し下回った。それと同期するように教員の声聞き取りにくかったようだ(Q10)。教室が鰻の寝床を横にしたような形状だけに、マスク越しだからなおのこと不鮮明だったかも知れない。申し訳なかったのは、自己成長実感が4.0(Q11)と、授業満足度(Q15)が4.33と高いこと。学生の声では、書く・読む共に日本語表現の微妙な綾に成長を感じたり、敬語に対する理解が深まったりと得るところはそれぞれあったようだが、全体の気持ちとはならなかったようだ。それが為か、自己採点(Q14)を3.67と低めに評価している。出席状況は良好だった(Q1)。 ③教員からの評価はアンケート対応の数値では3.85とやや高めだった。努力する学生が多かったこともある。四大生や短大生が入り交じった中で、個人よりも学科単位で差異が目立ったのは、今までにない現象であった。
暮らしと環境	西脇 智子	オンデマンド授業でしたが、多くの項目で平均を上回り、授業に対する自己評価が高かったこと、成長を実感できたことは、新しい取り組みとして、大変励みになりました。毎年、内容は変化していくことにはなりますが、説明の分かりやすさなど、高評価を得た部分について、次年度以降も工夫して取り組んで行ければと思います。
日本語表現法 a (英コミ④)	西脇 智子	多くの項目で授業に対する良い自己評価や成長を実感できたという評価があったことはとても励みになりました。毎年、内容は変化していくことにはなりますが、説明の分かりやすさなど、次年度以降も工夫して取り組んで行ければと思います。
Integrated English b(⑥)	三田 薫, ワインダー, グレゴリー・ジョン	コメントを読んで皆さんが単語の学習に励んで語彙力を高め、また英文を繰り返し書くことで文法力や論理的展開力を身に付け、音読発表をすることで発音を上達させたことが分かりました。これからも英語の勉強を続けていきましょう。
文学 b	高瀬 真理子	英国絵画や英国文学と日本文学、また、この授業では対象とはしていないものの、東洋の絵画や文化など、一つの作品にさまざま絡まっています。その辺が難しいでしょうか。加えて、学生たちから見れば、確固とした文豪でありながら、作家自身の立場に立てば、試行錯誤の連続です。なんとか、結果論ではなく、作者と一緒に試行錯誤して、創作の生まれるところを見定めて欲しいと思います。
Integrated English b(②)	栗田 智子, エドワーズ, マイケル・アンソニー	This was a high-level class. Though the group was large, we often enjoyed full participation. I was glad to see that all students indicated some level of improvement. I enjoyed teaching this group and was pleased to see all who participated enjoy class.

[2021（後期）短大共通] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
日本語表現法 a（英コミ②）	佐藤 辰雄	<p>①授業の殆どを対面で行った。共通教育の方針で14回授業の内、半数の回で100字要約ドリル学修を行った。やや高度な文章を読みこなしてまとめる作業は、学生に相当なストレスとなったはずで、感想で要約の練習だけ、と苦情が出るのも、そのように映ただろうと無下に否定はできない。普段、文章を読まない学生は特に辛かったろう。授業では解法の伝授に意を注いだ。</p> <p>その他に日本語表現の際の表記上の陥穽や敬語表現を教授した。かなり高度な四字熟語や漢字の小テストを毎回課したが、良く準備をする学生が例年になく多く、殆どせずに出席する学生を凌駕していた。その比率は、奈良の畝傍山の姿を彷彿とさせた。むろん、努力家が前面に高く位置し、中々予習する学生たちが台地状に連なり、殿(しんがり)を少数と言って良い学生が続く姿である。</p> <p>②学生本人としては、良く出席したし(Q1)、事前事後学修も多く取った(Q2)にも拘らず、教員の質に問題があつて(II)、成長実感(Q11)が乏しい上に、もっと学びたいかを問われても(Q13)英語学修を基本とする学生たちだからちっともそうは願わず、授業満足度(Q15)もとても低めとなった。</p> <p>にも拘らず自己採点(Q14)が4.27と異常に高いのには教員の方が驚かされる。この自信はどこから来るのか？ アンケートの回答者が良く努力し立派な成果を挙げている学生だからか。</p> <p>③教員のエンマ帳を見ても欠席者は確かに少なく(Q1)、小テストや課題提出も上等の部類だから、教員からの学生評価(Q15)は3.85と比較的高かった。何時もの事ながら、1年生と再履修の2年生との差異はとても大きい。</p>
女性の食と健康	関 登実子	<p>感性豊かなみなさんはどのような人生に正解を求めるのでしょうか。健康は毎日の積み重ねによって得られるものです。一生涯の心と体の健康は、あなたの行動、ひとつの実践にかかってくる。栄養・運動。休養のバランスをを常にお忘れなく。女子の修養で心ゆたかにお過ごしください。</p>
Integrated English b(⑦)	エドワーズ、マイケル・アンソニー、久保田 佳枝	<p>このクラスの学生のみなさんの多くは、おそらく英語に対して苦手意識を持っている人が多かったと思います。にもかかわらず、英語4技能向上に向けたグループ学習において、皆さんよく頑張っていたことは理解しています。日コミの学生さんは当該授業のみが短大時代で唯一の英語ですが、一年を通して学んできた高校までの英語授業とは全く異なるスタイルと内容を忘れずに今後の皆さんの将来にお役立ていただけますことを期待いたします。</p> <p>The most important thing this class did as a whole was to try hard. Many students asked questions, were active, and showed concern about their progress. I enjoyed teaching this group and was pleased to see all who participated, improve their English skills.</p>
女性とライフサイクル	西脇 智子	<p>オンデマンド授業でしたが、授業に対するわかりやすさの自己評価が高かったこと、成長を実感できたという評価もあり大変励みになりました。毎年、内容は変化していくこととなりますが、説明の分かりやすさなど、高評価を得た部分について、次年度以降も工夫して取り組んで行ければと思います。</p>
オープン講座④	村山 真一	<p>数式の持つ意味や計算の持つ意味をよく理解し、「だからこのように計算するのか」、といったところまで、身近なテーマに関しては、よく習得したのではないかと思います。SPIなどで要求される数的処理にも役立つことと思います。</p>

[2021（後期）短大共通] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
社会心理学	大倉 恭輔	<p>課題の作成、お疲れ様でした。</p> <p>単位取得者中の得点分布はのとおりです。 A+/A…29.7% B…45.9% C…24.3%</p> <p>また、出席数不足による失格者を除く受講生における「D」評価の割合は17.7%でした。</p> <p>D評価は、2点セット（教材とノート）のうち一方しか提出していないものと、明らかに授業内容を理解していない・事典の一項目をコピペしているものです。</p> <p>評価基準については、課題説明資料に記したとおりですので詳述はしませんが、2点、記します。</p> <p>「教材作成」という点でレベルに達している人は少なかったことは事実です。教材として優秀であるかどうかというより、教材という意識が少なかったことが残念です。</p> <p>ノートについては、「内容のまとめ」をノートと思っている人が多いということです。「実践入門セミナー」でノートについて説明を受けたと思います。もういちど思い返してください。</p> <p>その上で、大倉の反省です。</p> <p>コロナ以降、全国の大学におけるメディア授業が導入されましたが、解決できない問題も多く報告されています。</p> <p>そのひとつが、各種の授業で課題が多くなり学生の負担が増すということです。</p> <p>今回、この授業では学生の自学自習の部分を多くすることを考えました。配布資料の作成は大変でしたが、ビデオ教材と併用することで各回の目的や全体像が把握しやすくなったのではないかと思います。</p> <p>反面、受講生からの質問がほとんどなかったことは予想外でした。ビデオ教材と配布資料だけで大丈夫だったのでしょうか。といて、そこで宿題を出してしまうと、受講生の負担が増えるというジレンマに陥ります。</p> <p>いずれにしても、今回の結果を踏まえて、さらにわかりやすい授業の方法を考えていきます。</p> <p>半期のおつきあい、ありがとうございました。</p>
日本語表現法 a（英コミ①）	鹿島 千穂	<p>「100字要約」という今まで取り組んだことのない内容で、最初は戸惑ったかもしれませんが、しかし、添削の回を重ねるごとにコツを掴み、ほとんどの人が最終的に評価を上げていたことを頼もしく思いました。語彙力小テストへの取り組みも立派でした。最終回だけ対面で実施できなかったため、教室で寒中見舞いの書き方を指導できなかったことが心残りです。</p>